

令和2年度職員採用選考試験
看護 専門記述試験 (2.6.28)

= 課題 =

○ 心不全患者の看護について

事例を読み、次の質問について、それぞれ記述しなさい。

事例 Cさん 55歳 男性

- ・診断名：急性心不全（慢性心不全の急性増悪）
- ・病気の経過：2年前に初めて急性心不全で入院し、僧帽弁閉鎖不全を指摘され、薬の服用と体重コントロールの指導を受けて退院した。1か月に1回通院治療を続けていたが、最近仕事が忙しくて受診ができず、1週間前から労作時に息切れが出現し、足のむくみや体重が増加（2年前より+8kg）し、緊急入院した。
- ・現在の状況：現在入院4日目で、CCU（心疾患集中治療室）を退室し、一般病棟に入院中。酸素療法や点滴静脈内注射による薬物療法は中止となり、内服薬による治療を行っている。心電図モニターは継続中で、体重と尿量を測定している。心臓リハビリテーションを実施しており、息切れはほとんどなくなった。Cさんは、「タクシー運転手という仕事柄、足がむくむのはしょうがないと思っていた。心臓が悪くなっていたとは思わなかった。今度も家族に迷惑をかけて申し訳ないと思っている。」と話す。

- (1) Cさんの今回の入院時の症状である「労作時の息切れ」と「体重増加」について、そのメカニズム（機序）を説明しなさい。
- (2) Cさんに必要な看護を考える上で必要な情報収集の視点を2つ挙げ、それぞれ具体的な情報収集項目を答えなさい。
- (3) 看護学生AがCさんを受け持ち、「成人期にある患者の回復を促す看護」を学ぶ実習を行っている。学生Aは、「Cさんに必要な指導内容をいくつか考えてきましたが、指導することが多く、何から指導を始めたらいいか悩んでいます。」と教員に相談に来ました。

あなたが実習指導者だったら、教育的な関わりとして、学生Aにどのような声をかけるか、具体的な発言とその意図を述べなさい。